ボーリング柱状図

調　査　名

事業・工事名

ボーリングNO.									

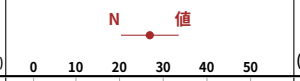
シートNO.

ボーリング名	B-2			調査位置						北　緯	36 ° 44 ' 2.6100 "
発注機関	栃木県　矢板土木事務所					調査期間	2008-10-27 ～ 2008-10-27			東　経	139 ° 58 ' 33.1600 "
調査業者名				主任技師		現場代理人		コア鑑定者		ボーリング責任者	
孔口標高	163.67 m	角度	180° 上 90° 下 0° 0.00 °	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	鉛直 90° 水平 0° 0.00 °	使用機種	試錐機	ハンマー落下用具	
総掘進長	5.00 m								エンジン	ポンプ	

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	地層岩体区分	孔内水位 (m) ／ 測定月日
1 2 3 4 5	158.22	5.35	5.45		表土 (SF) 砂質火山灰土 (VAS)	暗褐 茶灰 茶褐			礫分を混じる火山灰土から成り、不均質。 当地域で館ノ川凝灰岩層と称される第4紀洪積世の火山性半固結地盤である。 軽石質火山灰土を主体に多量の砂分を含有し、硬い。 軽石は細粒化したものを概ねとするが、局所的にはφ1～3mm程の粒状を認める。 GL-2m以深、含水を増す。 GL-2.6m～4.5m間、φ5～10mmの火山礫を主体に最大φ30mmを混入する。 部分的に砂分の多含有箇所が見られる。 GL-4.5m以深、厚さ3cm程の粘土層を帯状に介在する。		10/28 2.50 10/27 3.30

標準貫入試験

深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0－10	10－20	20－30	打撃回数／貫入量 (cm)	N値
1.15	4	5	7	16／30	16
1.45					
2.15	5	8	8	21／30	21
2.45					
3.15	5	7	9	21／30	21
3.45					
4.15	8	5	10	23／30	23
4.45					
5.15	6	8	12	26／30	26
5.45					



原位置試験 深度 (m)	試験名および結果	試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験	掘進月日
						10/27